

環境研究総合推進費 令和7年度中間評価個票

研究課題番号	3-2404
研究課題名	プラスチックに対するマスバランス方式の適用方法に関する研究
研究実施期間	2024（令和6）年度～2026（令和8）年度
研究代表機関名	立命館大学
研究代表者名	橋本征二

1. 評価結果

評価ランク：A

2. 委員の指摘及び提言概要

プラスチックのマスバランス方式の活用促進に向けて、幾つかのモデルによる表示方式、数理モデルフローの解析およびバイオマス炭素割合のモニタリング手法の検討を進め、中間段階としては十分な研究成果があがっている。サブテーマ間の連携が十分に実施されており、それぞれを基盤整備とする実効的なマスバランス方式を確立することで廃棄物政策への適用が期待できる。特にサブテーマ3で14C法の実測結果を環境インベントリと整合させた成果は大きい。アンケート調査に若干の遅れはあるものの前倒しの準備が進められており、全体として順調に進捗している。一方で、プラスチック中バイオマス成分の混合割合との乖離、環境負荷成分の割り当てなど、今後の検討すべき課題も多数あるため、わが国に適したマスバランス方式の確立が望まれる。また、得られた成果を学術論文として公表し、国際社会との協調にも期待する。